



矢野 邦夫 先生

浜松医療センター

副院長 兼 感染症内科長 兼 臨床研修管理室長 兼 衛生管理室長

'81年 名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、'89年 フレドハッチンソン癌研究所、'93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）、'96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床、エイズトレーニングセンター臨床研修修了。'97年 感染症内科長／衛生管理室長に就任。2011年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索



## CDC「医療施設において新型コロナウイルスに曝露した可能性のある医療従事者のリスク評価と管理のためのガイダンス」

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は日本国内で散発的に発生しており、感染者が医療機関に入院する可能性が高まっている。その結果、どの医療機関においても、医療従事者が新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）（註釈）に曝露する可能性があると言える。その場合、医療従事者が曝露すると、どのように評価し、どのように業務制限を行うかという判断が求められることになる。これについて、CDCが暫定ガイダンスを公開しているので紹介する（1）。この暫定ガイダンスはSARS-CoV-2に曝露した可能性のある医療従事者について、リスクの評価、モニタリング、業務制限について述べている。

### ■モニタリングの定義

#### ●自己モニタリング（self-monitoring）：

医療従事者が1日2回、体温を計って自分自身をモニタリングし、呼吸器症状（咳、呼吸苦、咽頭痛など）に注意を払い続ける。

#### ●積極的モニタリング（active monitoring）：

州もしくは地域の保健局が、発熱や呼吸器症状（咳、呼吸苦、咽頭痛など）の有無を評価するために、曝露した可能性のある人々と定期的に連絡をとる。高もしくは中リスクの曝露のある医療従事者には、少なくとも1日1回は、このような連絡をとることが推奨される。

#### ●委任監視による自己モニタリング（self-monitoring with delegated supervision）：

保健局と医療施設が同意することによって、医療施設の職業健康部門もしくは感染対策部門が保健局の協力のもとで、医療従事者に監視による自己モニタリングを実施する。

### ■濃厚接触の定義

医療ケアの曝露における濃厚接触（close contact）は下記のように定義される。

a) SARS-CoV-2の感染者から約2メートル未満で、長時間滞在する

（例：「患者をケアしたり、入室する」「医療施設の待合室や部屋で患者から2メートル以内に座る」など）

b) 患者の感染性分泌物や排泄物に無防備に接触する（例：「咳などで使用したティッシュを素手で触る」など）

濃厚接触の定義についてのデータは不十分である。濃厚接触を評価するときに考慮すべきことは、曝露時間（曝露時間が長くなれば、曝露のリスクも増大する）、患者の臨床症状（咳がみられれば、曝露のリスクが増大する）、そして、患者がマスクを着用しているか否か（マスクは呼吸器分泌物が他の物や環境を汚染することを効率的に阻止する）などである。

長時間の曝露を示す時間枠を定義することは難しい。しかし、伝播のリスクについて、さらなる情報が入手されるまでは、長時間の曝露を「短時間（1～2分以内）よりも時間が長いこと」とするのが妥当であろう。

現時点では、短時間の患者との接触では病原体は伝播しにくいと考えられる。しかし、すでに述べたように、これは患者の臨床症状および接触のタイプ（例、「患者が医療従事者の顔面に直接咳をしたか？」など）に左右される。短時間の接触の例としては、「患者や分泌物／排泄物に直接接触することなく、病室に短時間立ち入った」「マスクを着用しない患者と受付デスクで短時間の会話をした」などがある。

## ■曝露カテゴリーの定義

### ●高リスク (high-risk) :

眼、鼻、口を防御していないときに、SARS-CoV-2に感染している患者に対して、エアロゾルを産生する処置（心肺蘇生、挿管、抜管、気管支鏡、ネブライザー治療、喀痰誘導など）を実施した医療従事者、もしくは、呼吸器分泌物が十分に制御されていない部屋に滞在した医療従事者が含まれる。

### ●中リスク (medium-risk) :

医療従事者の粘膜や手が、SARS-CoV-2が付着している器材に曝露する可能性のあるところで、患者と長時間の濃厚接触をした医療従事者が含まれる。この曝露の医療従事者は高リスクの曝露よりは、発症の危険性が少ない。

### ●低リスク (low-risk) :

現在の推奨されている感染対策の手技を適切に遵守すれば（すべての推奨される個人防護具を着用したなど）、感染患者と長時間の濃厚接触をしても、その医療従事者は守られるであろう。しかし、このカテゴリーの医療従事者は「低リスク」に分類される。認識されない曝露があるかもしれないからである。

### ●リスクなし

患者に直接接触せず、患者の診療区域に立ち入らず、日常的な安全予防策を遵守している医療従事者は曝露のリスクはないと考える。

## ■曝露リスクに基づくモニタリングの推奨(表)

●「高もしくは中リスク」の曝露カテゴリーの医療従事者には積極的モニタリングを行い、最後の曝露から14日間まで医療現場での業務を制限する。

●「低リスク」の曝露カテゴリーの医療従事者は最後の曝露から14日間、委任監督による自己モニタリングをおこなう。このカテゴリーの医療従事者は無症状であっても、業務から外れる。1日2回の体温測定を行い、COVID-19に一致する呼吸器症状（咳、呼吸苦、咽頭痛など）に注意を払い続ける。自宅を出る前には発熱がなく、無症状であることを確認して、職場に報告する。発熱も呼吸器症状もなければ、それを報告して働いてもよい。仕事を始める前は、毎日、体温を再測定し、医療施設によって症状を評価されなければならない。業務のない日は、症状がなければ、報告することは求められない。

表. 医療施設における、感染者もしくは分泌物/排泄物に曝露した、無症状の医療従事者のための疫学的リスク分類、および、モニタリングと業務制限の推奨

疫学的危険因子	曝露カテゴリー	推奨されるモニタリング (曝露の可能性のある最後の日から14日間まで)	無症状の医療従事者に対する業務制限
A. 高濃度の呼吸器分泌物やエアロゾルを作り出す可能性のある処置（心肺蘇生、挿管、抜管、気管支鏡、ネブライザー治療、喀痰誘導など）をおこなったか、その部屋に滞在していた（眼、鼻、口が無防備の）医療従事者	高リスク	積極的モニタリング	最後の曝露後、14日間は業務から外れる
B. 高濃度の呼吸器分泌物やエアロゾルを作り出す可能性のある処置（心肺蘇生、挿管、抜管、気管支鏡、ネブライザー治療、喀痰誘導など）をおこなったか、その部屋に滞在していたが、ガウンと手袋を着用していなかった医療従事者（注釈）医療従事者の眼、鼻、口も防御されていなければ、彼らは上記の「高リスク」に属する	中リスク	積極的モニタリング	最後の曝露後、14日間は業務から外れる
C. マスクを着用していない患者と長時間の濃厚接触をした（眼、鼻、口が無防備の）医療従事者	中リスク	積極的モニタリング	最後の曝露後、14日間は業務から外れる
D. マスクを着用している患者に長時間の濃厚接触をした（眼、鼻、口が無防備の）医療従事者	中リスク	積極的モニタリング	最後の曝露後、14日間は業務から外れる
E. 患者の分泌物や排泄物に直接接触したが、その直後に手指衛生を実施しなかった（手袋を着用していない）医療従事者（注釈）もし、医療従事者が接触の直後に手指衛生を迅速に実施したならば、「低リスク」に属する	中リスク	積極的モニタリング	最後の曝露後、14日間は業務から外れる
F. マスクを着用している患者と長時間の濃厚接触をした（サージカルマスクもしくはN95マスクのみを着用した）医療従事者	低リスク	委任監督による自己モニタリング	なし
G. 患者の分泌物/排泄物を取り扱ったり、接触しているときに、すべての推奨される個人防護具を使用していた医療従事者	低リスク	委任監督による自己モニタリング	なし
H. 患者がマスクを着用していたか否かに関係なく、患者に短時間の接触のある（推奨される個人防護具のすべては使用していない）医療従事者（例：「受付デスクで短時間の会話をした」「病室に短時間入室したが、患者やその分泌物や排泄物に直接接触しなかった」「患者が退院したあとすぐに、病室に入室した」など）	低リスク	委任監督による自己モニタリング	なし
I. 患者の側を歩く、もしくは、患者や分泌物/排泄物に直接接触しない、そして病室には入室しない医療従事者	リスクなし	なし	なし

### [注釈]

2020年2月11日、世界保健機関（WHO : World Health Organization）は新型コロナウイルス感染症の正式名称を「COVID-19」と発表した。この原因ウイルスは暫定的に「2019-nCoV」と命名されていたが、国際ウイルス分類委員会（ICTV : International Committee on Taxonomy of Viruses）は正式に「SARS-CoV-2」と命名した。

[文献] (1) CDC. Interim U.S. Guidance for Risk Assessment and Public Health Management of Healthcare Personnel with Potential Exposure in a Healthcare Setting to Patients with 2019 Novel Coronavirus (2019-nCoV)  
<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/hcp/guidance-risk-assesment-hcp.html>

こちらも公開しています。

メディコン CDCガイドライン  

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

[crbard.jp](http://crbard.jp)

BD, the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2020 BD. All rights reserved.

